

ソフトの整理(将来の施設像・空間と機能)

■将来に向けた施設像

□キーワード「交流」「居場所」「だれでも」「多世代」「開かれた」「つながる」

□これまでの意見

用事がなくても立ち寄れる場所が欲しい

高齢者から子どもまで集まる場所に

将来のことも考えた施設に

地域の人に開かれた場所に

各施設の利用者が交流し、つながると

□施設像

「子どもから高齢者まで、みんなが集い、学び、つながり、未来へつなぐ場所」

□運営体制について

今後、以上の機能を実現するためには、住民による運営(例 コミュニティセター運営協議会)も考える必要がある【市の基本的な考え ④行政だけでなく様々な主体が関わる運営体制も検討したい】

■必要な空間と機能

○現状/□市民WSの主な意見

□必要な空間

□想定される機能

児童館

○子どもが遊びや勉強をしている
○乳幼児や保護者が集まっている
□子どもたちの居場所は大切

・子どもが思いっきり遊べる
・子どもが安心して遊べる庭
・ごろごろ読書ゾーン
・ベビーカー置場、授乳室
・乳幼児が安心して遊べる

子ども・若者
(児童館等)

図書館

○たくさんの本が貸出されている
○大人の本も子ども本もある
□コーヒーを飲みながら読書したい

・集中して静かに読書や勉強ができる
・本をきっかけに交流できる
・仲間と一緒に、勉強や調べ物ができる

図書館

地区市民ホール

○貸室でサークル活動等が行われている
□登録なくみんなが使えるようにしたい

・仲間と集まってサークル活動ができ、趣味を活かせる
・子どもから高齢者まで、目的に関わらず、誰でも過ごせる貸室、リースペース

コミュニティ
(貸室、リースペース等)

老人福祉館

○60歳以上が無料で利用できる
○お風呂は29人登録、1日平均8.1人
□高齢者の居場所も大切だが、色々な人が使えるようにしてもいいのでは
□お風呂は必要・不要両方の意見あり

・目的に合わせ、ちょうどいい広さで使用できる貸室
・飲食や交流が楽しめるオープンな空間
・子どもから高齢者まで、世代に応じて楽しめるイベントや講座

全体

□各機能がつながるようにしたい
□飲食できるロビーなどが欲しい
□誰でも制限なく使えるようにしたい
□相談がつながる機能があるといい

・地域の相談ごとが、横断的につながる
・市民自治の拠点、職員と市民の接点を増やせる
・インターネットを利用し、地域で勉強や仕事ができる(行政と市民のコワーキング)

新たな機能
(地域の自治)